

カスタムオーダー

SEMI ORDER 農業資材 価格目安表

セミオーダー



星野の既製品にロゴを箔押し、印刷。小ロットから気軽に作れるセミオーダー。
出荷箱・出荷袋も対応しています。

SHIPPING BOX FOR FRUITS 果実用出荷箱

KPR[E100]
1枚あたり @330 ～ 納期：
校了後 14 日

加工	品名	サイズ	LOT	単価	合計
1箇所1色箔押	もも一体箱 2kg 穴付 黒×茶	外寸：W315×D240×H128mm 内寸：W287×D230×H121mm	100枚	@390	¥39,000
	もも一体箱 3kg 穴付 黒×茶	外寸：W368×D265×H128mm 内寸：W340×D257×H120mm		@460	¥46,000
	もも一体箱 4kg 穴付 黒×茶	外寸：W443×D280×H128mm 内寸：W416×D271×H120mm		@480	¥48,000
	ぶどう一体箱 1房(L) 白×白	外寸：W253×D181×H154mm 内寸：W223×D172×H150mm		@390	¥39,000
	ぶどう一体箱 2kg 白×白	外寸：W345×D231×H142mm 内寸：W318×D223×H137mm		@390	¥39,000
	ぶどう一体箱 1房(M) 黒×茶	外寸：W244×D157×H133mm 内寸：W219×D148×H128mm		@330	¥33,000
	ぶどう一体箱 2房 黒×茶	外寸：W305×D210×H130mm 内寸：W279×D203×H128mm		@390	¥39,000
	ぶどう一体箱 4kg 黒×茶	外寸：W460×D341×H151mm 内寸：W435×D332×H148mm		@540	¥54,000
	ぶどう化粧箱 1房 木目柄	フタ+身外寸：W287×D200×H140mm 身内寸：W242×D170×H135mm		@560	¥56,000
	ぶどう化粧箱 2房 木目柄	フタ+身外寸：W267×D302×H140mm 身内寸：W225×D268×H135mm		@590	¥59,000
	ぶどう化粧箱 2kg 木目柄	フタ+身外寸：W367×D246×H140mm 身内寸：W323×D217×H135mm		@610	¥61,000
	洋梨化粧箱 2kg 木目柄	フタ+身外寸：W340×D220×H126mm 身内寸：W300×D194×H120mm		@550	¥55,000
	洋梨化粧箱 3kg 木目柄	フタ+身外寸：W400×D260×H125mm 身内寸：W359×D233×H120mm		@600	¥60,000
	洋梨化粧箱 4kg 木目柄	フタ+身外寸：W455×D290×H125mm 身内寸：W414×D263×H120mm		@630	¥63,000

※初回版代：¥10,000 ～ / 納期：要相談、最短で受注(校了)後約 14 日
※複数の商品に箔押しを行う場合、同サイズ、同デザインの箔押しであれば、1版で対応可能です。
※箔色は「金(艶/消し)」「銀(艶/消し)」「黒(艶/消し)」「白」の7色です。
※本カタログの既製品より、素材をお選び下さい。

TRIANGLE GRAPE BAG ぶどう出荷袋 (三角袋)

KPR[E100]
1枚あたり @5.1 ～

加工	品名	サイズ	LOT	単価	合計
1箇所片面印刷	カミセロ三角袋 中 透明	250 / 90×295mm	15,000枚	@5.1	¥76,500
	カミセロ三角袋 大 透明	275 / 120×295mm		@5.7	¥85,500
	カミセロ三角袋 特大 透明	290 / 130×295mm		@5.9	¥88,500

※初回版代：¥15,000 ～ / 納期：12月までの校了で翌年5月以降納品
(1月以降のご注文の場合、納期ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承下さい)
※紙部分とセロ部分の両方にオリジナルで印刷する場合、2版分の版代を申し受けます。
※印刷色は「青」「黒」のみとなります。他の色をご希望の場合、別途ご相談となります。また、ゴム印刷なのでかすれが出ます。

GRAPE SHIPPING BAG ぶどう出荷袋

KPR[E100]
1枚あたり @5.9 ～

加工	品名	サイズ	LOT	単価	合計
1箇所片面印刷	H コンテナ 19号 段有	150×291+26mm	15,000枚	@6.0	¥90,000
	H コンテナ 20号 段有	150×326+29mm		@7.2	¥108,000
	出荷袋 薄型 19号 止金なし	200×295mm		@5.9	¥88,500
	出荷袋 薄型 20号 止金なし	217×315mm		@6.0	¥90,000
	出荷袋 薄型 特大 止金なし	240×360mm	14,000枚	@7.4	¥103,600
	出荷袋 薄型 特大幅広 止金なし	260×360mm		@8.3	¥116,200

※初回版代：¥10,000 ～ / 納期：12月までの校了で翌年5月以降納品
(1月以降のご注文の場合、納期ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承下さい)
※印刷色は要相談。1色印刷となります。また、フレキソ印刷なのでかすれが出ます。
※片面印刷のみとなります。

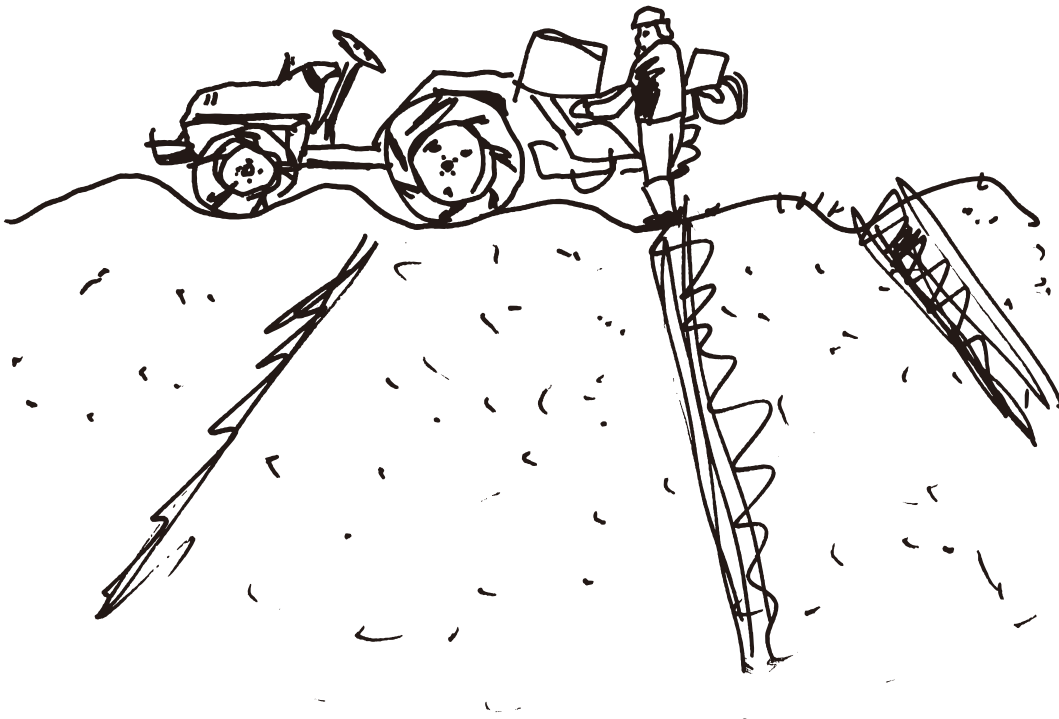
GRAPE GROWING BAG ぶどう果実袋

KPR[E100]
1枚あたり @6.3 ～

加工	品名	サイズ	LOT	単価	合計
1箇所片面印刷	H グレーブ 19号 段有	200×295mm	15,000枚	@6.3	¥94,500
	H グレーブ 20号 段有	217×315mm		@7.0	¥105,000
	H グレーブ特大 段有	240×360mm	14,000枚	@9.2	¥128,800

※初回版代：¥10,000 ～ / 納期：12月までの校了で翌年5月以降納品
(1月以降のご注文の場合、納期ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承下さい)
※印刷色は「赤」のみとなります。他の色をご希望の場合、別途ご相談となります。
また、フレキソ印刷なのでかすれが出ます。
※片面印刷のみとなります。

※その他の果実袋もセミオーダーを承ります。お気軽にご相談下さい。(ロットや条件等が異なる場合がございます)



星野株式会社が農業資材の生産からスタートしたことを踏まえると、稲作ほしの
を立ち上げたこともあながち偶然ではないのかもしれませんが。その背景にある
思いとこれから担っていく役割について、代表の星野誠に話を聞きました。



(COO

と思えたし、農業をやる製造メーカーがあったら、自分がお客様の立場であれば面白いと思うだろうなって。あとは何も考えていませんでした(笑)。農業を始めてよりその芯の部分が強くなったというか、毎日思うのは、本当にやってよかったなということです。

4、星野が農業を行うということの意義
ずっと果実袋を作ってきましたが、僕らにとってそれはただの果実袋でしかありませんでした。それがある時、紙がおもしろいとか、かわいいと言ってもらえるようになったんです。その外側からの声によって、僕らは果実袋が違った側面の魅力を持っていることに気づかされたわけですが、同時にショックでもありました。自分たちで価値のないものにしてしまっていたんですよね。だから今度は僕らが農業の新たな魅力を見つけて、再生していきたいんです。その手始めとして、会社の隣にずっとあった耕作放棄地を手入れして、畑として蘇らせました。そこを「再生畑」と名付けて、いろんなことを試していきたいと思っています。

5、農業を始めてからの変化
先日、再生畑にじゃがいもを植えるのはどうかと提案したら、ネギの方がいいんじゃないかという話になりました。会社から車で1時間ほどの、棚鱗(たなひれ)の倉庫から農機を運んでくるのは大変だからです。でも僕はそもそも機械で植えようとは思っていませんでした。全て手で植えてやろうと思っていたからです(笑)。どうしてそんな面倒なことをするんだとなるし、それが当たり前の反応だとも思います。僕も農業を始めた頃はそうでした。田んぼや畑に行く時はできるだけ多く、効率よく仕事をしたいし、本業にも時間を割きたいと思っていました。でも、去年植えたさといもとじゃがいもが美味しく育ってくれたのは、絶対に自分の手で植えたからだと信じてるんですよね、気持ちというか愛情を込めたからだ。

6、効率に抗う
下田の畑のさといもも、同じ地区の農家さんに驚かれたんですよ、どうしてこんなに葉っぱが大きく育ってるんだって。理由は正直よく分からないんですが、僕は畑に行くと、全ての畝を歩いてイモムシを捕まえていたんです。そうすると雑草も気になってくるので、畑に行く回数が増えていったんです。毎日行くようになると気づきがあるんですよね。マルチをすれば雑草が生えるのを防げるかもしれないけれど、僕は雑草を取りに畑に入っていくことが必要だと

美味しく育ってくれたのは、絶対に自分の手で植えたからだと信じてるんですよね、気持ちというか愛情を込めたからだ。

1、農業前夜
農業資材を扱っているのもともと興味や関心を持っていましたが、自ら農業を行うようになるということは想像もしていませんでした。本業があることはもちろん、実際に始めてみるととそうでもありませんでしたが、イメージが湧かなかったこともあり、参入へのハードルが余計に高く見えていたということもあります。ただ、食料自給率や耕作放棄地など身近なことが問題になっている中で、何か自分たちなりに力になれることはないだろうかという思いがずっとありました。

2、農のためにできること
そこで、農業資材を提案させていただく中で、資材だけでなくブランディングも含めてアプローチしていけば農家さんのお役に立てるんじゃないか、農家さんの商売を助けることが農業への貢献にもなるんじゃないかと考えました。最初に時間はかかりましたが、星野の他にそういった提案をする資材業者はいなかったこともあり、少しずつご依頼をいただくことが増えていったんです。しかし、僕たち自身の提案力が不足していたり、外的な要因があったりで、次第にうまくいかなくなっていきました。

3、主体的でありたい
お客様に対して求めすぎてしまっていたところもあったのかもしれませんが。勝手に片思いをして熱くなっていたというか、他力本願だったというか。そんな自分自身に疲れてしまい、頭を冷やして我に帰った時、もっと主体的でありたいと思うようになったんです。そこでようやく農業をやろうと腹が決まりました。自分で農業をすることがいちばん主体的である

取締役
COO

星野 誠

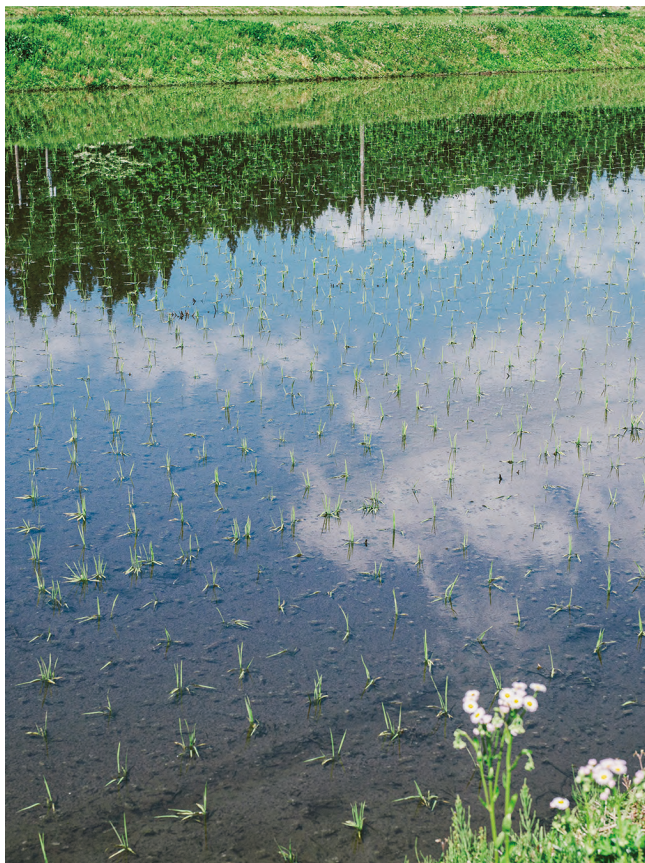




それぞれの得意なことを生かしていく中で、役割が明確になってきた3年目、トラクターを操る姿もようやく様になってきました。



畑に出かけて作物に触れること、それが1日の大切なルーティン。



美味しさの秘密は、守門水系をはじめとした下田郷の水。

思っているんです。それは手間のかかることだし、会社としてみれば効率的ではないかもしれない。でも、それが美味しさに繋がるんだと思っています。料理で考えれば、手間を惜しまなければやっぱりそれだけ美味しくなるし、美味しくするためにどんどん手が込んでいくわけですね。

7、土を信じる

新屋（あらや）の田んぼや下田の畑はすごくポテンシャルが高いと思っています。森町の田んぼの近くで畑をされているお婆あちゃんがいるんですけど、そこはちょっと砂地なんです。ご自身もさといもを作られているんですが、僕らの畑で採れたさといもを持っていくと、うちのよりも美味しいと言って喜んでくださるんです。土がいいからだよと仰られていました。もともと土にはポテンシャルがあるので、プラスアルファの窒素、リン酸、カリウムを入れるのはどうなんだろうと思うことがあります。人工的というか外圧的というか、土のポテンシャルを奪ってしまうように感じられて。実際に、化学肥料を使って育てたさつまいもを食べた時、すごく甘いなと思いました。甘いんですけど、でもその甘さにはどこか人工的なものを感じたんです。例えば、直接的な栄養になるわけではなく補助的なものとして、土を分解したり活性化させてくれるキノコの廃菌床であったり牛糞堆肥があります。そんな、土の可能性を向上させて生き生きとさせてくれるのであれば、使っていきたいなと思っています。

8、得意を伸ばす

農業を始めて3年目になり、それぞれの役割というか、やり方というものができてきました。同時に、まだまだいろいろ試してみて、失敗もしていい時期だし、必ずしもみんなが全てをできる必要はないのかなと思っています。全てできるようになって一人前だという考え方もわかるんですけど、草刈りが好きなら草刈りをする、草刈りが苦手なら機械に乗ったり他のことをする、そこで無理をする必要はないですね。できるから偉いわけではないし、できないからといって気にすることもないんです。できないよりはできた方がいいかもしれないですけど、やろうとしてもできないことだってあるわけですから。その分、得意なことにはガンガン積極的になって、どんどん上手になっていったほうがいいですね。

9、稲作ほしののこれから

会社を運営して行く上で、農業と本業はどんどん相互

関係になっていくだろうと思います。農業をしていない会社を、今ではもう想像することができないし、ますます不可欠なものになっていくだろうなと感じています。もはや両軸であり、製造業をやりながら農業も行うということに希少性があるんだと。今後、田んぼや畑を増やしていくのかどうかとか、農作物の売り方であるとか、整えていかなければならないことは山積みではあるんですけどね。農業で学んだことを会社に生かし、会社で生きたことをまた農業に持ち込むことで相乗効果が生まれるはずなんです。結果として、それがひとつのビジネスモデルとして捉えてもらえるようになったら面白いかもしれない。僕らはそれを目指しているわけではないですけど、手応えをすごく感じ始めているところです。

10、徳を積む

その手応えの本質はなんだろうと考えたとき、例えば「価値」という言葉だと何か違和感がありました。そして「徳」と言い換えてみた時に全てがしっくりきたんです。徳は貨幣的な価値観の外側にあって、巡り巡ってくるものではないかと思うので。自分がしたことでも喜んでもらえたり、試行錯誤して実践したことが評価されたりすることは嬉しいですね。そうすると今度は、行いをするそのものが楽しくなっていきます。そういう意味で僕にとっては、肉体労働が、疲れることが楽しいんです。例えば雑草取りですね。これで何かが変わるんじゃないかな、実際に美味しくなったのだとしたら雑草取りが効いたんじゃないかなって。だから、簡単ではないことほど楽しくて仕方ないんです。

個人的◎星野の好きな商品

星
野
誠



GIFT BOX | GATEAU

パティシエさんのご希望を竹内紙器さんに設計していただき、当社独自の素材で製造し商品化したとても愛着もあり、気に入っています。

PAGE : GIFT BOX | P.146





AGRICULTURAL MATERIALS

(農業資材)

